



# 山本山フジヱラボ エキュート立川店



「おにぎり+日本茶セット」 いろいろな具材からここでは鮭と「のりの」をチョイス。 「のりの」は山本山の海苔佃煮。日本茶も選べます。

#### 朝も昼も夜も 通いたい

駅直結の解放感溢れる白いカフェ。海苔にお茶、そして和三盆。 年齢、性別不問の美味しさを、どうぞ。

おにぎり、お好きでしょ? しかも作りたて、温かくて、ほわほわのおにぎり。 鮭とか明太子とか梅とか「のりの」とか。

お茶漬けもいいですよね。

かつお節、昆布、椎茸でとった出汁をほうじ茶で割る「ほうじ茶だし」。 具はもちろん山本山自慢の海苔。香りがいい。

抹茶、頂いてみましょう。その場で手点てで作る濃厚な抹茶をラテで。 あるいは濃厚抹茶プリン。

17時からの夜タイム。夜パフェが登場します。

いつ行っても充実タイムになること、まちがいなしのフジヱラボ。



「海苔だく茶漬け」(手前) 板海苔、あおさ海苔、ばら干し海苔の3種を乗せて。「ほうじ茶だし」を注ぐと、豪華な海苔の香りに包まれます













フジェラボ立川店 立川市柴崎町3-1-1 立川駅構内エキュート立川2階 TEL 042-527-5539 定休日 無休

**営業時間** 7:00~22:00(月~土) 7:00~21:00(日·祝)

# 選ばれる街へ

### 立川商工会議所会頭 川口哲生さんにきく

立川商工会議所開設70周年を迎えている 厳しい時代の会頭は、

立川にどんな思いをもっているのか、きいてみた

――会頭は博報堂時代、資生堂を担当されて いたそうですね。

川口 資生堂が長かったですね。化粧品をメインで担当する機会は少なくて、化粧品とトイレタリーの間のようなコスメタリーと呼ばれるものでした。当時の中高生はお化粧ができない時代でしたから、トイレタリーにお化粧を取り込もうと商品開発して、通れば広告まで全部もらうという仕事の仕方をしていました。どう訴求するかを考えつつ商品を開発する。

――どんな商品の時期ですか。

**川口** 覚えてらっしゃるかな、エクボとかへア コロンシャンプーとか。

---懐かしい!

川口 『花椿』という季刊誌のようなものも、その編集のあり方とか。あと店舗ですね。化粧品店だったり薬局だったり、お客様から見ると統一感がないので、店舗開発のようなこともやりました。何タイプかの仮店舗をスタジオの中に作って、お客さんを呼んで入ってもらってみたり、そんなこともしましたね。

――楽しいですね、いい時代でした。

**川口** そうですね、まさに。おごりがある…、 広告代理店は時代の勢いに乗っていたというと ころがありましたからね。何でもやらせてもら えるし、何でも面白がってやるという時代でし たね。

――お子さんは何人いらっしゃるのですか。

川□ 3人います。それぞれに私の好きなものが引き継がれているようで、1番上は音楽をずっと聴かせてきたので、ギターを弾いています。 仕事にするかしないかはまだ決めかねていますが。真ん中は工学部に進んだのですが、途中からアートとかファッションとかに興味が出てきて、それを自分の人生の中でどう合わせていくか悩んでいます。3番目は食べることが好きで すね。

――会頭も食べること、お好きなんですか。

川口 好きですよ。

一何がお好きなんですか。

川口 クスクス。

----え! クスクス!? (爆笑)

川口 (笑) クスクス屋をやりたくてモロッコに

行って習ったんです。で、鍋持って帰ってきたんですけど、ずっと 自分でクスクスをやっているわけ にもいかないなと思って(笑)。

――作れるんですか、あの世界 最小パスタ。

川口 今は買っちゃいますけど、 以前はこういう風にしてセモリナ 粉を両手でこすって砂のように作 れってモロッコで言われたから、 そう作っていましたよ。今はね、 ありもののクスクスを鍋に入れて 下から蒸して調理してます。うま いですよ。

**一**へえ。

川□ コロナ禍において唯一良かったのは、もう一回自分で料理をするようになったことです。 土日とか、夜は毎回何を作るか自分で考えて、でもね、結局早く飲みたくなっちゃって、4時ころから仕込んで、飲みながら作ってね。家族には不評なものが多いです。クスクスも作りますよ。

一クスクスは、さっさと食べないと増えちゃうから…。

**川口** 増えますよね(笑)。他に 好きなのは豆。フムスみたいな のも好きだし、ひよこ豆も好きだ し。トルコ料理とかアラブ系のものとか好きですね。昔、モロッコに貧乏旅行してた時、自転車で走っていてお腹が空いて工場みたいな所の売店に行くと、ピタパンのようなパンに、缶詰がずらっと並んでいてね、中身はなんだかわからないけれど適当に指差して、それを開けて、おそらくオリーブ油に浸かっていたんだと思う



#### 川口哲生さん

立川商工会議所会頭 1958年3月20日 立川市出身。

曙町にあった菊屋川口ビルが生家。立川二小から国立一中へ。慶応義塾志木高等学校から 慶応義塾大学経済学部。大学在学中に1年間アメリカへ留学、日本に戻って卒業し博報堂へ。 家業を継ぐべくサラリーマンを辞めて1年間海外を旅したのち立川へ戻る。現在は株式会社カ ワグチオートサービスの代表取締役。姉は映画評論家の川口敦子さん。



ネットでも公開しています

けれど、その最後の一滴までピタパンにはさん で、そんなものを食べていましたね。

―― それもまたいい時代でしたね。今はもうできないでしょう?

川口 いやいや、今だってどこかでやれるかもしれない。私はお金っていうものに価値をあまり持っていなかったんですよ。バブルとか言いながら、私たちの時代って金持ちより自分のセンスがいい方が絶対かっこいいって信じていた時代だから。今みたいに、世の中が分断され、お金を持つ人と持たない人の格差が広がった中で、お金をブリブリ使うのがかっこいいっていう価値観にはまったく興味がないですね。それはそういう時代でよかったなと思いますね。

一本当に。立川商工会議所もそういう時代を経て、70周年を迎えていらっしゃいます。一面とても厳しい時代の会頭になられていると思うのですが、これからの立川を会頭のお立場からお話いただけますか。

川口 そうですね。いろいろな所でお話していますが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから、さまざまな経済活動が復活しています。今までの停滞ムードから今年は大きく飛躍していく年だと思っていますね。70周年に掲げた新しいビジョンは『ミライをつぎつぎ立ちあげるInnovation Farm TACHIKAWA』。あらゆることに対して選ばれる街になることが大事だと思います。

――選ばれる街にするべく立飛HDさんが頑張っていると思いますが、それに対してはいかがでしょうか。

川口 体力がないとできないことですし、体力があっても普通の企業はしないことです。だからそこに私たちは本当に感謝しなきゃいけない。『フィールド・オブ・ドリームス』という映画があるじゃないですか。まさにそれで、トウモロコシ畑を開いて球場を作るという所を立飛さんがやってくださっていると思うから、そこには本当に感謝しかありません。人の流れもできました。街は完成するものでなく変化しますので、また欠けるものも出ますが、そこを補ってみんなでまた繋げていく。街が求めるものは何なのかと考えながらやっていく。その繰り返し

なんでしょうね。その長い流れの一部に自分が会頭でいるだけで、ならばそこにいる間にできることはやりたいと思っています。

――具体的にはどのようなことを お考えですか。

川口 私はすべてにおいて、もっと新陳代謝が必要だと思うんです。商店街だけでなく、企業においても。生き残っているだけになってしまった所はあるわけです。もう何十年も同じ業種・業態で商売しているなんて、もうありえないと思うんです。例えば、自動車販売整備業ですって私は

言っていましたが、そんなのは成立しなくて、モビリティを支えるインフラ業ですって言わなきゃいけない時代。すべての業種・業態において、新しい時代にどういう価値があるのかを考えて変わっていかなきゃならない、それが今回70周年で言っているイノベーションなんです。だから、街も新陳代謝が必要で。もしかしたら個店だったところが賃貸業になって、新しくそこに入った人がそれを引き継いでいくのかもしれない。逆にエリアとして借り上げて、エリアとしてこういうものをやっていきますとしていくのも商店街などについては大事かなとも思います。

――なるほど。

■回回いですよ。駅前なんか飲食で埋まるんだったら、少し遠いところには電動キックボードとかマイクロモビリティとか、新しい方法をくっつけて、新しいエリア全体を見せていく。そんなことができたら面白いと思うんですけれどね。自分の存在の在り方をビジネスとして見せて、生き方を変える時代だなとはすごく思いますね。生みの苦しみで大変ですけれど。

一サンサンロードとか、駅の西側にある北と南をつなぐデッキとか、もっとうまく使えないですかね、ファッションショーなんて最適ですよ。 川口 そうですね、他にああいう所はないから。 以前伊勢丹さんが立川ファッションウィークをやっていて、そういうのをサンサンロードをラン ウェイにしてやるとかね。でも、服を買わないっ ていうのは着ていく所がないんだなと思います よね(笑)。

――そう! 以前浴衣が売れないって、浴衣を着ていく所がないからなんだと中屋さんがおっしゃっていました。盆踊りがないですものね。

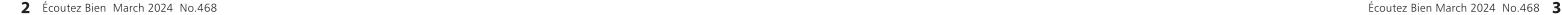
川口 みんながおしゃれして何かやるとか、台 北ではスーツウォークとか言って、みんなでスー ツを着ておしゃれして練り歩くといったことを やっていますよね。イベントとしてここを使って、 ただモデルが歩くだけじゃなくて、おしゃれし た人が歩くプロムナードみたいなことをイベント 化してくのもありですよね。一発じゃなくて、継 続して。

あとはデッキですね。

川口 北から南に流れる人の流れを作ったら、繋がっていきます。クリスマスマーケットとかね。 サンサンロードからドーンと南まで。北からのイルミネーションをそのまま持っていくことはできなかったとしても、南には飲食がありますからね、売店が並ぶのもとても楽しいですよ。

――あとは若い人がお金を使いたくなるような 街へ。

Ⅲ□ 明日のためにお金をとっておく、平たく言えば、「今日よりいい明日が信じられる世の中」に、経済においても社会においても、そのようにしていく責任がありますよね。立川からそうしていきたいです。







# 邮田升陵たむん美術館



ネットでも公開しています

### 二度はないかもしれない展覧会

有名な「大政奉還」図は、実は立川で完成していた。 絵を描く以上に菊造りに心血を注いでいたのだとか。 500坪の庭園にみごとに咲かせた菊を、 時季にはたくさんの人が観にきたという。

えくてびあん紙面に、過去何度か登場した絵師 朝田丹陵。聖徳記念絵画館壁画「大政奉還」の下図を描いたことや、立川飛行場が国際空港だった時代に、飛来する海外パイロットたちにお土産として立川町が渡した品々の中に朝田丹陵の絵があったことなどを紙面でお伝えしてきた。関東大震災から逃れて砂川村に家族と移り住んだとは聞いていたが、邨田丹陵についてそれ以上のことはわからないままだった。

この度、たましん美術館で『邨田丹陵――時代を描いたやまと絵師』を拝観。絵を観て、たましん美術館の学芸員である齊藤全人室長の話を聴いて、丹陵の生涯を知るうちに、今までほんやりとしか見えなかった邨田丹陵という人物が、鮮やかな極彩色に彩られた、あるいは浮彫になったような思いがした。

下谷区(現・台東区西部)で被災した丹陵は、かねて親交のあった砂川家の援助を受け、砂川村に住居および画室を新築、ここで壁画「大政奉還」が完成する。この度の展覧会では、砂川家の全面的協力で多くの絵画や、殊に500坪の庭園で菊造りにいそしむ丹陵の写真などもあり、多面的な展示は丹陵を立体的に見せてくれる。

立川に生きた絵師 邨田丹陵。立川人がこの展覧会に足を運ばない理由はない。 図録がまた、いい。展示は前期、後期に分かれるが、後期は2月24日~3月31日まで。 主催は(公財)たましん地域文化財団、(公財)立川市地域文化振興財団。ぜひ一度 は訪れてもらいたい。



「屋島合戦画帖」の中から



聖徳記念絵画館壁画「大政奉還」下図



小早川隆景公仮寝図



明治42年に、月陵は十九会という会の 惣代として、仲間達と多摩川で鮎漁を愉 しんだ。この時に、一行を厚くもてなし てくれた地元の紅林家に御礼として贈っ た寄合書の対幅。丹陵が石竹、鳥居清 忠(四代)が扇面、寺崎廣業が鮎、鈴 木華邨が蛍、久保田金僊が燕子花、久 保田米斎が笹舟と、それぞれが初夏を 表すモチーフを一点ずつ描いている。



たましん美術館入口



展示の様子 菊造りに心血注ぐ丹陵の姿

たましん美術館(本店と一緒にあります) 立川市緑町3-4 多摩信用金庫本店1階

#### えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 栄町・高松町・曙町・羽衣町 のお店です。

É	彩食中華 須崎507-0981
J	寝具の石川524-1333
	手作りパン工房 Bonheur ~ボヌール~ 536-3207
	メンズカット ヤザワ 536-8738
	(株) 立飛ホールディングス 536-1111
	大型コインランドリー マンマチャオ栄町店

高松町	立飛麦酒醸造所527-1894 金田スイミングスクール立川立飛 ルーデンス食堂
	米穀·食料品 横町屋 522-2609
	サイクルセンターシバタ 522-3888

ルーデンス食堂	
米穀・食料品 横町屋	522-2609
サイクルセンターシバタ	522-3888
セイロン風カリー シギリア	507-2418
ライブハウス Crazy JAM	529-9507
立川湯屋敷 梅の湯	522-3800
ヘアーサロン イトウ	522-6281
立川伊勢屋 本店	522-3793
大野サイクル	523-2061
立川キリスト教教会	526-6826
サロン・ケベクア美容室	527-4716

	ヘアーサロン イトウ 522-6281
	立川伊勢屋 本店 522-3793
	大野サイクル 523-2061
	立川キリスト教教会 526-6826
	サロン・ケベクア美容室 527-4716
	HAIR MAKES たしろ 525-2175
•	
曙	うなぎ しら澤 524-5061
町	久住ハウジング (株) 527-8007
	不動産 大晋商事525-3110
	ヤマハミュージックアベニュー立川 523-1431
	蕎麦懐石 無庵524-0512
	TABACCONIST ゼフィルス 524-0514
	あら井鮨総本店 522-2957
	大衆劇場 立川けやき座512-5057
	立川伊勢屋 ルミネ店524-3395
	多摩信用金庫 すまいるプラザ立川店 0120-667-646
	オリオン書房 ルミネ立川店 527-2311
	みずほ銀行 立川支店524-3121
	コスメドール 辰己屋 524-6051
	黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI 523-0166
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 527-6888
	三井住友銀行 立川支店 522-2151
	レストラン サヴィニ 525-1662
	立川献血ルーム527-1140
	アートルーム 新紀元 528-6952
	MOTHERS ORIENTAL 528-0855
	和食どころ 若草茶屋 526-0010
	三上鰹節店522-3259
	ビックカメラ 立川店 548-1111
	Charcoal Dining るもん 527-3022
	酒亭 玉河522-2654
	玉屋 KITCHEN 595-7847
	ホテルエミシア 東京立川 …525-1121
	カフェ アバン527-4479
	手打ちそば しぇ もと 529-5468
	シンボパン522-6211
	天ぷら わかやま525-0222
	café cocokara ·····512-7159
	多摩水族館524-0288
	すし 魚正522-3437

# jorakugajo

Cut Studio SOFIA ······ 528-3241

立川市女性総合センター アイム 528-6801

オリオン書房 ノルテ店 ……522-1231

シネマシティ シネマ・ツー 050-6875-3975

額縁専門店 プリムベール … 528-6789

洋食屋 にゅうとん・

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー!: 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄は スマホアプリ「スカパー!番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩: 11ch · 111ch 放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

掲載しきれなかった写真などはQRコードからどうぞ 同い



# 今年最初のイベントは「凧揚げ」

と風が足りない穏やかな晴 天。立川市地域文化振興財 団主催、立川市子ども会連 合会が主管で「新春子ども凧 あげ大会」が開催されました。 立川各地域から親子で、あ るいはお友だちと子どもたち が参加。オリジナルの絵を描 いた凧を片手に、河川敷市 民運動場を走り回っていまし た。中央線や特急が鉄橋を 渡ります。中央線のグリーン 車も東京方面へ走っていきま した。遠くに雪をかぶった富 士山が見えています。立川ら しい風景でした。



## 諏訪神社のどんどん焼き

風の強い1月15日、柴崎町の諏訪神社でどんどん焼きが行われました。神職による神事が終わると、昨年1 年間守っていただいたお礼を込めて、お札や松飾り、だるまなど縁起物が炎の中に。どうぞ今年も良い年にな りますように。

.....





# 今年も安全・安心に――出初式

1月7日、国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンゆめひろばで、立川市消防出初式が開催されました。立川 消防少年団、立川市消防団徒列部隊、市民消火隊及び可搬ポンプ、立川市役所自衛消防隊の行進に始まり、 続いて立川市消防団 指揮車、活動車、消防ポンプ車が入場しました。訓示、告示、来賓挨拶、来賓祝辞が 終わると、表彰です。立川市吹奏楽団の演奏を聴いて、一斉放水。今年も町の安全・安心のために、どうぞよ ろしくお願い申し上げます。



宿谷豊立川市消防団長



一斉放水の様子

# 立飛のふれあいフェスタ

世の中は二十歳になった人のお祝いの日。アリーナ立川立飛とドーム立川立飛では恒例の「新春 立飛 ふれあいフェスタ」が開催されました。なんたって、無料で美味しいものが配られたり、楽しい遊びがで きるのですから、お近くなら誰でも行きたいですよね。ということで、行列ができていました。午前と午 後では内容が違うのですが、午後はバージョンアップされて、東京女子体育大学の新体操以外にフット サル女子チームも参加。こうしているいるなものを見たり触れたりして、子どもたちに沢山の引き出しが できるのは、とってもいいことですよね。





温かい豚汁がおいしそう。

会場の中は縁日の雰囲気です

#### 六小マルシェ

第六小学校(羽衣町)では、6年生の立川市民科の授業で「起業」をテーマに取り組んできました。そ の集大成として1月13日、体育館で六小マルシェを開催。地元の商店とコラボして新商品を開発。その チケットを販売しました。今号ではその時の様子を簡単にお伝えし、収支などを含めた詳しい内容は次号、 えくてびあん4月号(3月19日発行)をご覧ください。





六小マルシェ開催の看板

長い行列、どこまで購入可能なのかな。

# 消防総監感謝状贈呈

立川消防署では、令和5年12月28日、救急救護に功労のあった3名の方に消防総監感謝状を贈呈し

ました。令和5年11月9日 に立川市曙町のフットサル 場において、フットサル中に 倒れた男性を3名の方が連 携し通報、観察と胸骨圧迫 心臓マッサージ、AEDを装 着し救命処置を行い、救急 隊へ引き継ぎ救護しました。 感謝状贈呈にあたり3名は 「一緒にフットサルをやって いた仲間なので助かって本 当に良かった、看護師なの で仕事の経験が活かせて良 かったです」と話していまし

立川消防署管理係 福山)



バイスタンダーの方に消防総監感謝状 (右は立川消防署長) ※バイスタンダーとは救急現場に居合わせた方のこと

#### 表紙

Palace in Takashimaya (曙町)

建物はそのままに、内実は変容を遂げて。い ずれ立川に、サンサンロードに更なる変化をもた らすであろう2つの建物を撮りました。撮ったの は、まだパレスホテルがパレスホテルで、高島屋 が高島屋だった時。高島屋の壁面にあるガラス に写っているのがパレスホテルの客室。地上12 階建て、全238室、13室の宴会場があり、市民 に親しまれていました。レストランやバーも通っ た方は多く、ラウンジはお見合いの場としてもよ く使われていました。百貨店という業態が過去の ものになったのかもしれませんが、百貨店世代に とっては懐かしい高島屋です。地下で焼いていた 「御座候」。赤あんも白あんもそれぞれにおいし かった。美味しさを求めて新宿高島屋まで行く今 日この頃です。

#### # te Z Y

◆まだまだ寒い日が続いています。能登半島 地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上 げるとともに、1日も早い復興を祈念いたしま す◆立川駅前のコーヒーショップに入りました ら、二次元コードで注文することになっていま した。高齢者の多いお店でも、こうして変わっ ていくのですね。二次元コード、増えました。 かくいうえくてびあんも、二次元コードを読み 取ると、たくさんの写真を見ることができます。 表紙の写真も全容がわかります◆読者の方か らお電話をいただくことがあります。今号に掲 載の「フジヱラボ」さんも、ご高齢の方から「取 材してください」とご連絡をいただきました。立 川をよく知らなくても、こうして駅に近い所に高 齢者でも安心して入店できるお店があると伝え て欲しいと◆また別のお電話では、1月号に掲 載した「但馬屋珈琲店」について、もっとしっか り取材して欲しいと。新宿の老舗純喫茶「但馬 屋珈琲店」がいかに素晴らしいかをお話いただ きました。立川に入ってくるもの、また出てい くもの。川口会頭がおっしゃるように「街は変 化するもの」なのですね◆えくてびあんは立川 に生まれて40年。変化する立川に寄り添って、 今夏からは41年に入ります。

えくてびあんスタッフ一同

#### えくてびあん ©

3月号 第40巻 通巻468号

令和6年3月1日発行 発行 有限会社えくてびあん 〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

E-mail message@tamatebakonet.jp URL https://www.tamatebakonet.jp

発行人 黒須 環 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ

デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES) 印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

**6** Écoutez Bien March 2024 No.468 Écoutez Bien March 2024 No.468 7

#### ニッサン夢通りの壁画



えくてびあんの写真から

32年前も、道路沿いに長く続く塀に絵を描くことがあったようです。この写真は1992年に撮影したもの。立川商工会議所で発行していた冊子に応募した中から「ニッサン夢通り」の名前が選ばれたと、当時壁画の横に建てられていた日産自動車株式会社村山工場の説明看板に書かれてありました。

車の時代でした。1963年首都高速道路1号線が 開通した時の CM に、「フリーウェイは日産車の〈走るショールーム〉です!」というのがありました。1988年の CM には「くうねるあそぶ。」で、車はとても大事な個人の居場所だと。翌年平成が始まると、「きっと、日本が変わっていく」というコピー。それから10年、日産自動車株式会社は「日産リバイバルプラン」を発表、2001年村山工場は閉鎖となります。

描かれた絵は、平和で楽しく希望ある未来を想像させるものばかり。果たして30年経った今、世界は壁画のようになっているでしょうか。

